

文化財鑑賞：東京国立博物館訪問

— 文化財よ、永遠に(企画展) —

実施日	2019年11月26日(火) 曇り時々雨	参加者	15名	20191211作成
コース	集合場所：小田急線町田駅改札口花屋前 8時30分、新百合が丘駅 8時40分 小田急線町田駅 8時39分—快速急行—新百合が丘 8時48分—新宿 9時15~23分 —JR中央快速—神田 9時35~39分—JR上野駅 9時45分。			
概要	本企画展は、住友財団修復助成30年記念事業によるものである。東京(上野・国立博物館、六本木・泉屋博古館分館)、京都・泉屋博古館、福岡・国立博物館の4会場で開催されるものの一つである。 当会場では、日本の各地には多くの仏像が残っており、山間部などにひっそりと祀られる仏像からは、地域の人たちの思いが伝わってきます。東日本大震災で被災した仏像を含め、大切に守り伝えられてきた仏像を展示しています。 拝観後、有志により、皇居内の大嘗宮も見学。			

見所

展示例

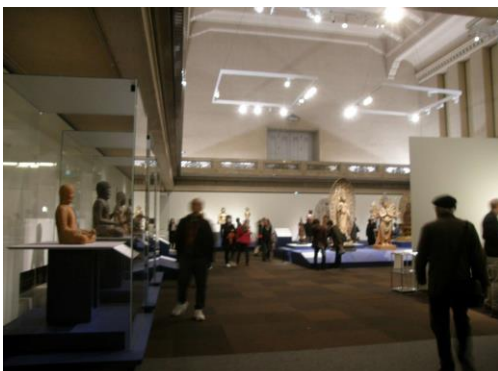
- 千手観音菩薩立像 平安時代・9世紀 福井・高成寺蔵 注：修理後重要文化財に指定された。
- 阿弥陀如来坐像 平安時代・11世紀 福島・杉阿弥陀堂蔵
- 虚空蔵菩薩坐像 平安時代・11世紀 茨城・真壁町山口地区蔵
- 阿弥陀如来立像 鎌倉時代・13世紀 ベトナム国立博物館蔵 注：75年ぶりの里帰り
- 釈迦如来坐像 鎌倉時代・14世紀 福島・楞嚴寺(リョウゴンジ)蔵
- 七仏薬師如来立像、七体一具の珍しい形式 岩手・正音寺蔵 など
- ビデオによる修復状況の映像放映など



“文化財よ、永遠に”



展示場全景 (PRセンターより複写)



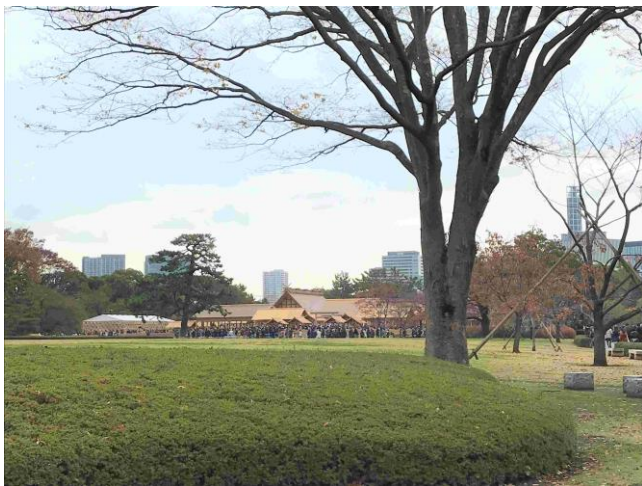
展示場の様子



国立東京博物館前庭にて



展示仏像の所在図



大嘗宮 遠景



大嘗宮 見学風景



大嘗宮のジオラマ模型



大嘗宮前にて